

グリース阻集器の日常清掃

グリース阻集器の清掃を怠ると機能が低下するだけでなく害虫や悪臭の発生につながります。

日常清掃を徹底し、阻集器が有効に機能するようにしましょう。

グリース阻集器の適正管理

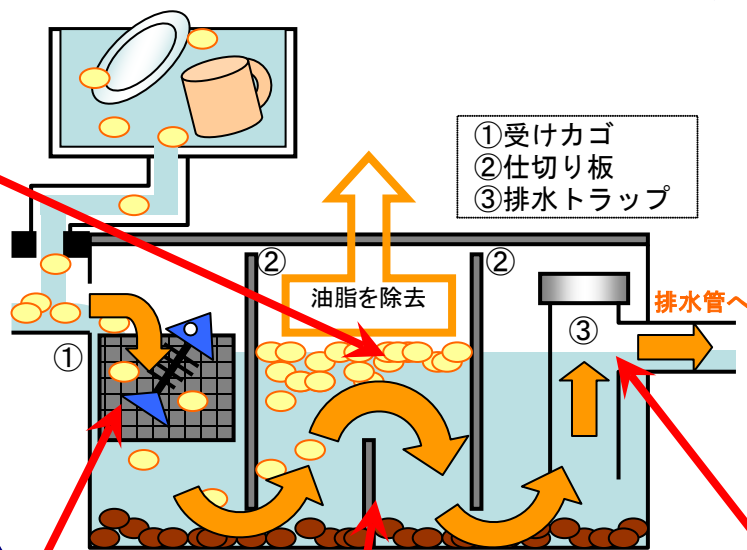
東京都健康安全研究センター
建築物監視指導課ビル衛生検査係

浮上した油脂の除去（毎日実施）



金網などですくい上げ、産業廃棄物として処分します。

グリース阻集器とは



厨房等の排水には油脂が多く含まれており、そのまま流すと排水管や下水管が詰まるおそれがあります。

そこで、グリース阻集器の内部で排水の流れを遅らせ、油脂を浮上させます。

この油脂を除去することで、排水管や下水道に油脂が流入することを防いでいます。

したがって、下記のことは油脂の除去の妨げになるので、やめましょう。

- × 仕切り板を外す。
- × トラップ管のキャップを外す。
- × 熱湯を流す。
- × 阻集器内にエアを吹き込む。

底部の残さの除去（週1回以上実施）



残さ物は産業廃棄物として処分します。

排水トラップ内部の清掃（2～3ヶ月に1回実施）



清掃後は、トラップ管のキャップを忘れずに元に戻します。

受けカゴの清掃（毎日実施）



カゴを取り外して清掃します。